2017年 Vol.104
月刊 住宅ジャーナル 7

CONTENTS

住宅・建築

06 都市型住宅の新領域（後編 / 木造編）
14 耐火木造４階建で木造建築都市の元年に
16 杉厚板で断熱・グリーンイノベーション
22 狭小変形敷地でも自由な木造構造設計
30 木造ゼネコン化で今年度目標 18 棟

行政関連

44 ９㎜厚ＰＢボードの告示案の影響は？
50 国際大臣・ログロード代官山を視察
36 超低金利ローンで市町村と機構が連携

建材設備

18 木構造保護するカーテンウォールの役割
32 大スパン＆多層階実現する平行弦トラス
38 建材店の配送込価格比較できるサービス

DATA

53 業界サーチ
60 資材価格の統計
32 商品プロモーション情報
58 木材・合板市場動向
61 ハウスメーカー受注速報
49 補助金関連の情報

連載

41 新刊書案内
42 事業承継2016
54 イベント情報
34 人が先、間取りは後
28 未来に伝えたい日本建築伝統儀式

（P8）

（P10）

（P19）

今月のトップランナー

（P14）

アイ・ケイ・ケイ㈱
伊藤 好則 社長

坂本雄三・東京大学名誉教授
が外部顧問として基調講演

杉厚板で外皮熱性能向上 グリーンイノベーション

WOOD.ALC実証実験棟が完成

福島県
泉崎村
で建設

国産杉の30㎜～45㎜の板厚（ラミナ）を同一方向に集成したWOOD．ALCとCLT（直交集成板）を組み合わせたWOOD．ALC実証実験棟の完成見学会が5月12日に福島県泉崎村中核団地内で開催された。主催は一般社団法人日本WOOD．ALC協会。福島県WOOD．ALC推進協議会と福島県CLT推進協議会の共催のほか、民間企業や研究機関が協力している。

見学会では芝浦工業大学の青島啓太氏らによるWOOD．ALCの実証実験棟の取り組みや可能性に関する解説が行われた。

WOOD．ALCは、1時間準耐火構造（大臣認定）で外装と内壁（105㎜と120㎜）が用いられており、断熱材にもなっている。外装のカーテンウォールでは、地震時の建物の揺れに追従するロッキング構造となっている。液体ガラス製の塗料によってWOOD．ALCを経年変化による変色等から保護する検証を行っている。内装では、木材の特性である調湿効果（吸放湿）が過度な室内乾燥を抑制する。

WOOD．ALCは工期短縮施工を容易とする乾式工法として利